

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

丹波篠山市立城南幼稚園

園長 中野 純也

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

自分大好き、友だち大好き、自然大好き
～自然と愛に囲まれた楽しい園づくり～

2 今年度の重点目標

- ・安全で安心して学べる保育環境づくり
- ・幼稚園における協働体制の確立
- ・豊かな人間関係や特別支援教育の推進
- ・地域とともにある園の推進
- ・働きやすい職場づくり

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全・安心	効果的な安全点検	A	・教職員による定期的な施設設備の点検では、毎回、点検個所を変更した。学校運営協議会委員による園舎の危険個所の点検をした。
	教職員・児童生徒の安全対応能力の向上	B	・年3回避難訓練を実施した。職員の不審者対応訓練は、学校園以外の関係者の参加のもと実施し、関係者間で理解が深まった。
生活面	基本的な生活習慣の確立	B	・朝の準備、うがい手洗い、排泄、給食等において、園児の発達段階を考慮して基本的な生活習慣の確立に取り組んだ。 ・あいさつや正しい言葉遣いなどは、その都度、機に臨んで指導した。
教育面	自然とのふれあいによる体験的な活動の充実	A	・小川や田んぼ、草むら等で生き物に触れる体験的な遊びを通じて季節感や生命の不思議について学ぶ機会を設定した。
	食育の充実	B	・サツマイモやミニトマトなどの野菜を育て、収穫して食べることを通して、食べることの大切さや野菜の栄養について学び、食育を推進した。
地域とともにある園	地域素材による遊び(学び)の充実	A	・園周辺や地域の方の畑、アグリステーションに出かけ、地域から学ぶことができた。
	情報発信の充実	B	・ドキュメンテーションの掲示やホームページ、学校園だより、園だよりで情報発信に努めた。さらに発信頻度を上げていきたい。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・保護者との信頼関係もできており、子どもたちが伸び伸びと過ごしていることが感じられる。
- ・主体的な活動、基本的な生活習慣の確立、体験活動は、園、家庭、地域の協働が必修である。
- ・避難訓練、引渡訓練、安全指導、感染症対策等は、家庭、地域の参画事業の充実が重要である。
- ・特別支援教育は、特別な教育と考えず、すべての基本、土台と思い、取組を進めてほしい。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・地域、家庭、園生活において、就学前教育の充実が図られており、基本的な生活習慣の定着が図られ、心身ともに成長している。
- ・幼小連携事業や園児に寄り添う指導や支援が展開されており、園児の成長がみられる。指導や支援が向上していることの現れである。
- ・小さい時から、絵本等に親しむことはとても大切である。ゲーム、スマホが流行っている最近では、家庭でも気を付けてほしい。
- ・園活動の記録をまとめて情報発信がされており、園と保護者のつながりが深められている。
- ・保護者の「よくできている」という評価は、一朝一夕にできるものではない、日々こつこつと頑張ってもらいたい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
園教育の充実	<ul style="list-style-type: none">・幼小連携について、幼小や幼保の交流だけが連携と捉えるのではなく、様々な方法や手立てがあると思う。情報交換や課題を共有することも大事な連携である。・特別支援教育については、保護者にとり、まだ、よくないイメージがあるように感じる。様々な関連部門での連携や保護者の思いなどがあり、難しいとも感じる。
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・安全管理は、施設・設備の安全点検に加えて、「園児の遊び方の指導」も必要である。両面を合わせて推進してほしい。
地域とともにある学校	<ul style="list-style-type: none">・学校園日より、園日より、ホームページにより、家庭をはじめ地域社会に学校教育活動の情報を発信している。今後、避難訓練や学校の施設設備管理や感染症対策などについてもそのねらいとともに様子を伝えていく必要がある。・園、家庭、地域には、それぞれの役割がある。園では学ぶ力をつけてほしい、家庭に帰れば、家庭や地域で子どもをみる。このように多岐にわたる立場が協力するべきである。